

## 2022.12月速報 業況D Iは、コスト上昇に感染拡大が重なり、悪化。先行きは、物価高や外需停滞の懸念から厳しい見方

全産業合計の業況D Iは、▲18.4(前月比▲2.0ポイント)。製造業では部品等の供給制約の一部緩和に加え、企業の堅調な設備投資需要に牽引され業況が改善。また、卸売業でも製造業向けの原材料・部品等の引き合いが増加し改善した。一方、建設業では資材・燃料価格の高騰に加え、人手不足による受注機会の損失で業況が悪化。また、小売業・サービス業では物価高に感染拡大が重なり、消費マインドが一段と低下し、業況が悪化。経済活動が正常化に向かう一方、原材料・エネルギー価格の高騰や人件費の増加等、コスト負担増は継続しており、増加するコストに見合う十分な価格転嫁も行えていない中で感染拡大も重なり、中小企業の業況は悪化に転じました。

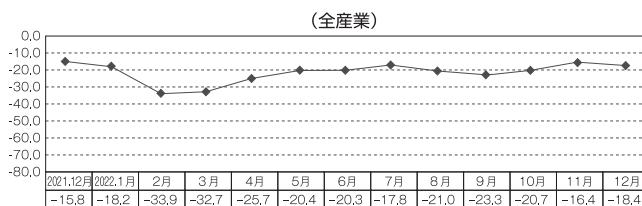
【産業別概況と見通し】 前月と比べた D I 値の動き ↗ 改善 → ほぼ横ばい ↘ 悪化

 建設業	設備投資や住宅関連等の民間工事は堅調に推移しているものの、資材・燃料価格の高騰によるコスト負担増や人手不足に伴う受注機会の損失に加え、公共工事では受注減、価格転嫁の遅れによる採算割れも発生し、悪化。 ・「経済活動は戻りつつあり、民間工事を中心に大型案件を受注できるようになってきた。一方で、専門的な技術者が不足しており、大型案件を受注すると、他の工事に人手がまわらず、対応が出来ない状況も発生している」(一般工事業) ・「仕入単価の上昇分は、顧客と協議の上で販売単価へ上乗せ出来ているが、他社との価格競争もあり、上乗せ金額は最小限となっている」(電気通信工事業)
 製造業	エネルギー価格や輸入部品価格の高騰によるコスト負担増は継続も、設備投資需要の増加や部品の供給制約の一部緩和により、改善。一方、今後の物流停滞に備えた、部品等の過剰発注により、在庫過多を懸念する声が聞かれた。 ・「半導体等の供給が少しづつ回復し、生産も順調に推移しており、売上は改善している。今後の物流停滞や仕入価格のさらなる高騰に備え、先んじた部品の大量調達を実施せざるを得ない状況のため、多くの在庫を抱えてしまうケースも発生している」(金属加工機械製造業) ・「材料費の高騰に対する価格転嫁は取引先にも協議できているが、エネルギー価格の上昇に伴うコスト増分の交渉は苦戦している」(金物類製造業)
 卸売業	物価高と感染拡大による消費マインドの低下で、小売業向けの日用品や飲食業向けの飲食品関係の受注は減少しているものの、設備投資需要の回復に伴い、製造業向けの原材料・部品等の引き合い増加が牽引し、改善。 ・「物流の停滞も少しづつ回復しており、取引先からの発注も増加している。経済活動が正常化に向かう中で、需要が増加しているのは喜ばしい限りだが、コロナ禍で希薄になった取引先との関係性の再構築を図っていく必要がある」(各種包装資材卸売業) ・「物価高による一般消費者の購買意欲の低下でスーパー等からの受注は減少している。宿泊施設などの新たな販路開拓を図っていく」(食料・飲料卸売業)
 小売業	インバウンドの増加による免税品の売上増や、高付加価値商品の販売が堅調な百貨店では改善が見られる一方、物価高による消費マインドの低下で日用品等の買い控えが増加し、商店街や専門小売店を中心に、悪化。 ・「日用品のほぼ全てが値上がりしており、必需品のみの売上に留まってしまっている。加えて、電気代の高騰による負担が大きく、収益を圧迫している。商店街内にも空きテナントが増加しており、本来の年末年始の活気は戻っていない」(商店街) ・「全国旅行支援で旅行客は増加しているが、物価高により消費者の購買意欲は低下しており、土産品の売上は低迷が続いている」(酒小売店)
 サービス業	インバウンドの増加や全国旅行支援による客足の回復に伴い、イベント関連や旅行業では改善が見られるものの、感染拡大により、団体や法人からの予約キャンセルが発生している飲食・宿泊業が全体を押し下げ、悪化。 ・「全国旅行支援の恩恵もあり、宿泊客が増加し、業況は回復基調で推移している。一方で、光熱費や仕入品の価格上昇によるコスト負担増は今までにないほど大きく、収益を圧迫している。また、人手不足も深刻で、今後のさらなる需要増に向けた対策が急務である」(宿泊業) ・「団体客の予約が戻ってきた矢先、感染者数の増加でキャンセルが発生した。消費者の意識がコロナとの共生に向かってほしい」(飲食業)

## 業況D I の推移

	2022年7月	8月	9月	10月	11月	12月	見通し1~3月
全産業	▲17.8	▲21.0	▲23.3	▲20.7	▲16.4	▲18.4	▲23.8
建設業	▲28.7	▲26.4	▲28.7	▲29.9	▲22.9	▲27.2	▲26.6
製造業	▲17.9	▲18.9	▲23.3	▲20.1	▲16.2	▲14.2	▲18.7
卸売業	▲18.1	▲24.8	▲27.2	▲21.1	▲20.3	▲16.3	▲23.3
小売業	▲25.2	▲30.7	▲31.9	▲29.4	▲23.	▲32.1	▲35.6
サービス業	▲4.1	▲10.2	▲11.4	▲8.1	▲4.5	▲7.0	▲18.1

※見通しは、当月に比べた向こう3ヶ月の先行き見通しD I



※調査期間：2022年12月13日～19日

全国329商工会議所が2,525企業にヒアリング(東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答)

※D I 値（景況判断指數）

業況・売上・採算などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、景況感の相対的な広がりを意味する。

## 県内企業倒産発生状況

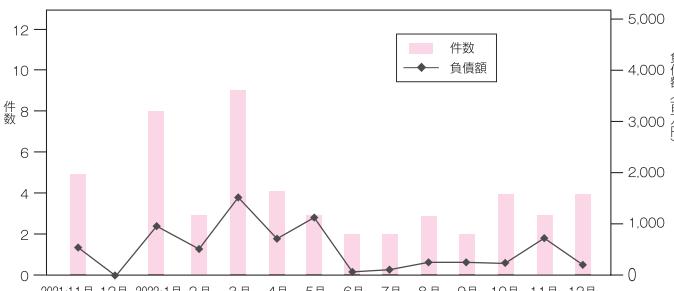
前年同月に比べ件数・負債総額共に増加したが、小規模倒産が主流。

### 令和4年12月概況と見通し

コロナ禍における倒産抑制に大きな効果を見せたゼロゼロ融資の返済が本格的に始まり、2023年4月以降は自治体の利子補給が順次終了。円安や物価高・エネルギー高、更には人件費の上昇等もある一方で、中小企業に於ける価格転嫁は難しく、収益環境の悪化が懸念されています。実質賃金の減少や物価上昇は末端消費の減退を誘発しており、企業業績の回復は更に遅れる可能性が高まっています。

一連のコロナ関連支援策が一時的な効果に止まり、抜本的改善への取り組みが遅れている中小企業は多く、経営状況は疲弊しつつありますが、有効な打開策は未だ見出せておらず、企業倒産は年度末に向け増勢ピッチを速めることが懸念されます。

### 山形県 月別倒産件数 負債額



東南置賜・米沢・南陽・高畠・川西

資料／東京商工リサーチ

## 県内消費者物価指数 前年の水準を上回った

令和4年11月	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
食 料	107.1	0.6	6.9
住 居	104.6	0.2	2.8
光熱・水道	115.5	▲0.1	7.1
家具・家事用品	110.3	1.2	8.8
被服及び履物	109.3	1.7	6.5
保健医療	100.1	▲0.1	0.4
交通・通信	94.2	0.0	1.1
教 育	99.5	0.0	0.7
教養娯楽	100.7	▲1.1	▲0.5
諸 雑 費	102.2	0.1	0.4
総 合	104.0	0.2	3.8

資料：山形県みらい企画創造部統計企画課

## 百貨店・スーパーの商品別販売額 県内の販売額は前年を上回った

品 目	地 域		全 国		山 形 県	
			百貨店+スーパー		百貨店+スーパー	
	販 売 額	前年同月比 全 店 舗	販 売 額	前年同月比 全 店 舗	販 売 額	前年同月比 全 店 舗
紳士服・洋品	48,510	▲4.3	189	▲6.9		
婦人・子供服・洋品	138,380	0.3	166	▲6.3		
その他の衣料品	14,074	▲15.2	27	18.8		
身の回り品	87,014	11.5	37	▲11.7		
飲食料品	1,138,464	3.2	9,402	2.6		
家 具	7,716	▲7.9	112	▲8.7		
家庭用電気機械器具	14,688	▲4.8	69	15.0		
家庭用品	33,493	▲3.7	263	▲3.7		
その他の商品	265,790	5.5	738	▲3.8		
食堂・喫茶	11,240	4.4	26	0.6		
合 計	1,759,369	3.0	11,029	1.6		

経済産業省 東北経済産業局調べ

(注・販売額は四捨五入の関係で合計とは一致しない場合があります)

## 米沢市建築確認申請状況 (専用住宅) 件数は前年同様、床面積は前年を上回った

令和4年 12月		件 数			床 面 積 (m <sup>2</sup> )		
		2・3号 建 築 物	4 号 建 築 物	小 計	2・3号 建 築 物	4 号 建 築 物	小 計
総 数		0	14	14	0	1,633	1,633
新 築		0	13	13	0	1,569	1,569
増 築		0	1	1	0	64	64
前 月 比(%)	総 数	-	127.3	116.7	-	127.8	111.0
前年同月比(%)	総 数	-	107.7	100.0	-	107.3	100.2

専用住宅 2・3号建築物…建築基準法第6条第1項2・3号建築物（木造3階建築物、木造以外の2階以上建築物など）  
4号建築物…建築基準法第6条第1項4号建築物（2・3号に掲げる建築物以外、木造2階住宅など）

## 米沢市的人口と世帯数

令和4年12月1日現在

人 口 79,817人 (80,303人)

世帯数 33,363世帯 (33,375世帯) 一世帯当り 2.39人 (2.41人)

（ ）内前年同月データ

資料／米沢市政策企画課統計調査担当

## 一般職業紹介

有効求人倍率は前年を0.37ポイント上回った

### 米沢市

新規学卒除きパートタイム含む

	求人數	求職數	求人倍率	充足數
令和4年 11月	3,203	2,037	1.57	194
	990	494	2.00	-
前月比 (%)	100.6	100.6	98.7	102.1
	85.7	85.7	77.8	-
前年同月 比 (%)	67.3	67.3	130.8	98.0
	65.2	65.2	110.5	-

充足数…自定所の有効求人が定所の紹介により、求職者と結合した件数

### 職種別 (山形県)

	求人數	求職者数	求人倍率
管 理	77	58	1.33
專 門 ・ 技 術	3,867	1,665	2.32
事 務	2,307	3,632	0.64
販 売	3,001	988	3.04
サ ー ビ ス	4,475	1,701	2.63
保 安	542	67	8.09
農 林 渔 業	247	197	1.25
生 产 工 程	4,091	1,930	2.12
輸送・機械運転	1,246	512	2.43
建設・採掘	1,686	201	8.39
運搬・清掃	2,308	2,784	0.83
そ の 他	0	1,513	-

(主要業務指標・パートタイムを含む全数)

資料：山形労働局職業安定課

